

出前講座（札幌国際大学）実施概要

1. 開催日時：令和7年5月21日
2. 会場：札幌国際大学
3. 講座概要：北海道観光の現状と国の観光振興施策
4. 講座内容：
 - ・観光行政の基礎情報
 - ・今後の観光推進に向けた国の取り組み
 - ・北海道観光の推進に向けた取り組み

観光の持つ多面的な意義

成長戦略の柱 地域活性化の切り札

人口減少・少子高齢化が進む中、**交流人口・関係人口の拡大は地域の活力の維持・発展に不可欠**。
我が国には、国内外の観光旅行者を魅了する素晴らしが自然、気候、文化、食が揃っており、コロナによってこれらの魅力は失われていない。
観光は今後も成長戦略の柱、地域活性化の切り札。

豊かな国民生活

旅のもたらす感動と満足感は、誰もが**豊かな人生を生きるための活力を生み出す**。
観光は学習・社会貢献・地域交流の機会であり、観光により地域の魅力を発見し、楽しみ、家族の絆を育むことは、**ワーク・ライフ・バランスの充実**にもつながる。

自らの文化・地域への誇り

観光を通じて住民が**自らの地域に誇り**と愛着を感じることは、**活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を可能にする**。

国際相互理解の増進

観光を通じて**異文化を尊重し**、世界の人人と絆を深めることは、**卒の根から外交や安全保障を支え、国際社会の自由、平和、繁栄の基盤を築く国際相互理解を推進する**。

観光立国推進基本計画（第4次）について（基本的な方針）

○観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札。国際相互理解・国際平和にも重要な役割。
○コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ、我が国の観光を持続可能な形で復活させる。
○「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに戦略的に取り組み、全国津々浦々に観光の恩恵を行きわたらせる

取り組む3つの戦略

持続可能な観光地域づくり戦略

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 観光DX、観光人材の育成・確保
- 自然、文化の保全と観光の再立等、持続可能な観光地域づくり

インバウンド回復戦略

- コンテンツ整備、受入環境整備
- 高付加価値なインバウンドの誘致
- アウトバウンド・国際相互交流の促進

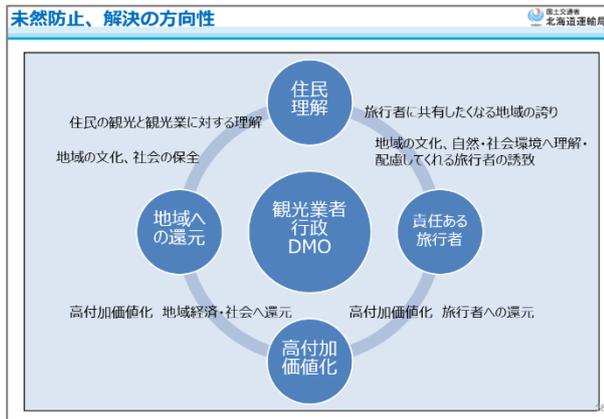
国内交流拡大戦略

- 国内需要喚起
- ワーケーション、第2のふるさとづくり
- 国内旅行需要の平準化

※個別の施策については、主な内容を記載

■活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域の社会・経済に好循環を生む「持続可能な観光地域づくり」が全国各地で進められ、**観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大**がコロナ前より進んだ形で観光が復活している

■世界的潮流を捉えた観光地として観光を呼び、「持続可能な観光」の先進地としても注目されている



北海道におけるアドベンチャートラベルの可能性

アドベンチャートラベルは、なぜ北海道に向いているのか

- ・欧州、北米、豪州、ニュージーランドとは違う**異国風な自然**
- ・本州の歴史的、文化的特性とは対照的に、**野性的でアウトドア向き**で理想的地
- ・一年中**アクセス可能で安全、インフラが素晴らしい**
- ・食の**選択肢は非常に幅広く、全てのお好み、年代、所得レベルに対応可能**

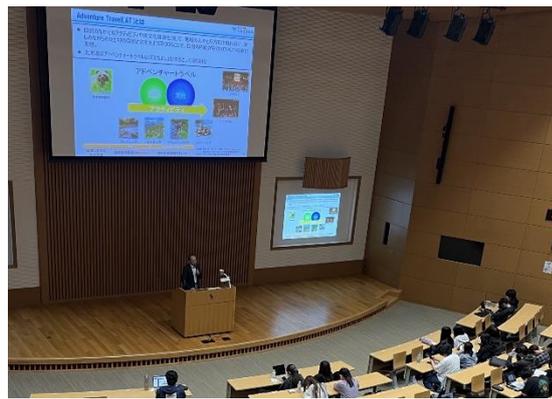
北海道の美しさ

- ・多様な風景は、オーストラリア、スイス、ニュージーランドに匹敵
- ・北海道の**野生動物の多様性はオーストラリア、スイス、ニュージーランドを超えている**

私たちが一丸となり一致協力すれば、北海道を、**世界でも有数のアドベンチャートラベルの目的地として周知させることができます**

Dr. Mark Brazil

5. 実施風景



6. 受講者の感想（一部抜粋）

- ・人口減少が進む中、日本にとって観光は地域を支える重要な産業だと改めて実感しました。
- ・特にアドベンチャートラベルは自然環境を生かしながら地域の価値を高める観光の形として注目されており、持続可能性の観点からも非常に意義があると感じました。
- ・オーバーツーリズムへの対策や地域との連携の必要性についての説明も分かりやすく、実際の課題を知る良い機会になりました。